



大宮西中学校は創立50周年を迎えます
～つないできた 愛 これからもずっと～

藤花だより

令和6年度7月号
令和6年7月1日
さいたま市立大宮西中学校
TEL048(624)4339
<https://omiyanishi-j.saitama-city.ed.jp>

「話は目で聴け」

～4月の目標を振り返り、気付き、考え、実行する夏休みへ～

校長 森角 由希子

先日地域の方とお話をしていた際に、歴代の校長の名前について話題になりました。担任の名前は覚えていても、校長の名前や、校長が朝礼や始業式、卒業式で話した内容を記憶に留めている人は、どれだけいるのでしょうか。私自身の記憶の中では、中学校時代の校長先生の話はインパクトがありました。色々な話をしてくださったと思うのですが、その都度話の終わりには、「話は目で聞け」の言葉で貫かれていました。「また同じ話か」と思うのですが、不思議なもので、繰り返して聴くことで、私にとってだんだんと心の真ん中に大きく響いてくるものになってきました。そして、話をしている人に目が向けば、自然と耳は前を向く。そして、体の構えができると、心の構え（話を聞く姿勢）も変化してきました。そしてそれは、習慣となりつつありました。

私たちには、何気ない言葉遣いや態度などを含めて、習慣となっていることがあると思います。それを長い間繰り返しているうちに、そうすることが当たり前のようにになっていることがあります。それらは、最初は無意識で行っていたこともあるかもしれませんが、自分でよいと思って継続することもあれば、直すこともあるかもしれません。また、ときには、人に教えてもらい、初めて気付くこともあります。ですから、よい習慣を身に付けていくために、絶えず自分で気付いたことを考えて行動を変えていくようにしなければなりません。

身に付いた習慣は、生徒の学校生活全般に大きく影響します。特に、中学校の場合は、生活や健康、さらに学習にも大きく影響することがあります。学習用具等の忘れ物が多い、整理整頓ができない等は、能力というよりも習慣として身に付いていないことが原因として考えられます。また、思いやりのある言葉遣いや意欲的な取組の態度など身に付いた習慣は、生まれつきの性質に劣らないほど、その生徒の豊かな生活や行動に深く関係します。

4月に立てた目標を今もしっかりと実行しようと努力しているでしょうか。自分で建てた目標（志）を達成するために、「気付き」「考え」「実行」していくプロセスが、習慣化できると、充実した学校生活を送れるようになると思います。

夏休みは目の前です。夏休みの目標を立てる前に、あらためて、皆さんが4月に立てた目標（志）の振り返りをする中で、豊かな夏休みを過ごせるようになってほしいと思います。

※なお、文中にある「話は目で聞け」と話してくださった校長先生は、当時旧大宮市内の中学校で校長をされていた、本校初代校長、佐藤平次先生です。



<修学旅行奈良にて>